

令和五年十月吉日

家庭に関する学科等で学ぶ生徒の進学機会の拡大についての要望書

全国高等学校長協会家庭部会

理事長 木次 慎一

同 進路調査研究委員会

委員長 小川 剛

家庭に関する学科等においては、将来の生活産業を担うスペシャリストの育成を目指し、知識・技術の習得はもとより、学習の定着をより確実にするため、公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による家庭科技術検定（被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定）などにも取り組んでおります。このような中、家庭に関する学科で身に付けた知識・技術をさらに高めるため、また、より高度な資格を取得するため、大学・短大への進学を希望する生徒が約三割おります。一方、経済的な理由により、進学を断念する生徒や入学後の学業に専念できない卒業生が、少なからずおります。

つきましては、進学機会の拡大に向け、入学者選抜の改善や修学環境の整備など、左記の事項について特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

- 一 「総合型選抜」「学校推薦型選抜」における家庭に関する学科等で学ぶ生徒を対象とした枠の設置及び拡大、並びに「専門学科・総合学科卒業生選抜」の積極的な導入。
- 二 家政関係の学部・学科（教育を含む）における入学者選抜において、出願資格・条件のひとつに、家庭科技術検定を明記するとともに、その成果や課題研究・学校家庭クラブ活動等の実績の適切な評価。
- 三 家庭科技術検定などの家庭に関する学科等で学んだ学習成果に応じて、入学金・授業料等の減免や奨学金制度の充実等、経済的優遇措置の一層の拡充。

以上の三項目につきまして、重点事項として要望いたします。

特に、今後の入学者選抜の実施にあたっては、一及び二について、特段の配慮を重ねてお願いいたします。

令和五年十月吉日

家庭に関する学科等で学ぶ生徒の進学機会の拡大についての要望書

全国高等学校長協会家庭部会
理事長 木次 慎一
同 進路調査研究委員会
委員長 小川 剛

家庭に関する学科等においては、将来の生活産業を担うスペシャリストの育成を目指し、知識・技術の習得はもとより、学習の定着をより確実にするため、公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による家庭科技術検定（被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定）などにも取り組んでおります。このような中、高等学校で身につけた知識・技術をさらに高めるため、また、より高度な資格を取得するため、専修学校への進学を希望する生徒が多数おります。一方、経済的な理由により、進学を断念する生徒や入学後の学業に専念できない卒業生が、少なからずおります。

つきましては、進学機会の拡大に向け、左記の事項について特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

- 一 家庭科技術検定などの家庭に関する学科等で学んだ学習成果に応じて、入学金・授業料等の減免や奨学金制度の充実等、経済的優遇措置の一層の拡充。
- 二 入学者選抜において、出願資格・条件のひとつに、家庭科技術検定を明記するとともに、その成果や課題研究・学校家庭クラブ活動等の実績を尊重・重視した評価の導入並びに一層の推進。

以上の二項目につきまして、重点事項として要望いたします。

令和五年十月吉日

家庭に関する学科等で学ぶ生徒の採用に関する要望書

全国高等学校長協会家庭部会
理事長 木次 慎一
同 進路調査研究委員会
委員長 小川 剛

家庭に関する学科等においては、将来の生活産業を担うスペシャリストの育成を目指し、知識・技術の習得はもとより、学習の定着をより確実にするため、公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による家庭科技術検定（被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定）などにも取り組んでおります。さらに、課題研究やインターシシップなどの体験的な学習を重視して、実践力やコミュニケーション力、豊かな人間性を育てております。就職を希望する生徒は、衣食住・保育や福祉といった人々の生活に密接に関係した学びから得た専門性を活用して、生活の質を向上させるものづくりやヒューマンサービスを通して社会に貢献したいという熱意にあふれております。このような人間生活の基本を真摯に学ぶ若者に対して就業の機会を確保することは、私たちの切実な願いであります。

貴団体におかれましては、就職希望者が自らの進路実現を図ることができるよう、各都道府県下の企業との連携により、求人や採用に際して、左記の事項に特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

一 家庭に関する学科等で学ぶ生徒が希望を持って社会に踏み出せるよう、生活産業に関わる企業等における採用枠の拡大及び安定的な採用。

二 採用選考において、家庭科技術検定、課題研究や学校家庭クラブ活動などの成果を尊重・重視した評価の導入並びに推進。